

---

# キミに青空を～虹のカケラ～

瑠華

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

キミに青空を、虹のカケラ

### 【Nコード】

N4125D

### 【作者名】

瑠華

### 【あらすじ】

1人の女の子と、青空の物語です。

## “ broken piece 1 ”

「プロローグ」

私は、空を知らない。

ひとひら落ちた花びらを私は知らない。

知らないけど、今もこれからもずっと、空はある。花びらは舞い落ちる。

私はそれを知っている。

いや、きっと知らないんじゃない。

どこかで、覚えているんだ。ただ、それを思い出せないだけ…

僕は、あの懐かしい青空をキミに届けたい

## 第一章 『夢と記憶』

この景色はなんだろう？この景色を、私は知らない。

知らない、知らない、知らない！！

……知らないはずなのに、なんでこんなにも胸が痛むの？

もう、いやだよ、こんなの…助けて！誰か助けて！！

「……追いかけてこないで！！…なん…なの、いや！助け…（モフッ？！）」

「な…に朝から、寝ごと連発してんだあ？早く起きろよ！！」

「ん…。。えっ？！なんで、ここに雄飛がいんの？まさか、お見舞いに来てくれたの？」

「るせえー！別に、見舞いにきた訳じゃねえよ！！」

「そつかあ？じゃあなんでここにきたの？」

「いや…それは…あつ！あれだよ！その、海行かねえか？」

「はあ？！なに言ってるんの？私は無理だよ。いつも言ってるでしょ！外に出たら、北村先生に怒られちゃう…」

「…わりい。そうだったよな…」

「別に謝らなくていいよ！雄飛らしくない！！」

「んだと?!失礼な!!」

こんな、変な会話から始まる1日。まあいつものことだ。

私の名前は、ももつかるさ桃塚瑠紗。13歳の中学2年生。

毎日、元気に過ごしてるし、なんの問題もない毎日。でも、私は外に出たことがない。生まれたから1度も…

だから、外の世界のことは何も知らない。今まで、病院しか見たことがなかった。

この病気のせいで

「あゝあ、私も外行きたいのになあ…なんで、こんなになっただろ…」

「……………」

「ん?あつ!ごめん、いまのなし!!しょうがないもんね。こんな体じゃ…」

「そんなことねえよ!そのうち、治るって!!なっ?」

「うん。ありがとう」

さつきから、私と話してるこいつは、日向雄飛。ひなた ゆうひ私と同じ、中学2年生。雄飛は、昔からの友達。まあ幼なじみだ。

「それよりお前、なんの夢みてたんだ?うなされてたぞ?」

「ああ…うん。なんか、さいきん変な夢みるんだ。」

「変な夢?」

「うん。なんか、知らない景色が…毎日同じ…夢の中で、私を苦しめるの。」

「そうなんだ…」

「ん?どうした?」

「別に、なんでもねえよ!!また、あとで来る。じゃあな!」

「えっ!あ、うん。ばいばい」

雄飛どうしたんだろ?いつもと様子が違った。。

ズキツツ?!?!?!!

「痛っ!痛い!!痛い!!!助けて!!!」

なに?!この頭痛!あれ、失っていた記憶が…

痛いよ……

「a broken piece」…カケラ…

虹のカケラ…どこに消えたの？

私の記憶は、どこに消えたの…？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4125d/>

---

キミに青空を～虹のカケラ～

2011年1月27日09時00分発行